

実施による工夫と得られる効果一覧

■実地による工夫

- 1 当日リハーサルだけではなく、ルームを使ったリハーサルを当日までに行う。
- 2 卒業生からのメッセージを5分にし例年よりも長くとる。
- 3 依頼事項に「卒業生囲む会」までのアテンド依頼をかける。
- 4 昨年と同じ会場で実施する。

■得られる効果

- 1 当日のリハーサルだけでなく、他にもリハーサルを設けることで当日のミスを減らし、タイムロスを少なくし、当日のリハーサルの時間の短縮になります。
- 2 卒業式のメッセージを5分にし、例年のタイムオーバーしてた分をまかぬ。
- 3 依頼事項に載せることで暗黙のルールだったところを明確化し、卒業生の持ち物になる、お花やプレゼントを各委員会で対処してもらう
- 4 去年と参加人数予定があまりかわらないので、去年と同じところですることで去年の引継事項をしっかりと確認し当日のミスを減らすことができる。。